

史跡武蔵国分寺跡周辺エリアのまちづくりに関する第2回地域懇談会 開催結果

1. 開催概要

1) 開催目的

まちづくりの方向性を踏まえたまちづくり実施方針への展開について報告し、都市計画で目指す街のイメージや具体的な実現手法について懇談する。

2) 開催日時

平成 29 年 12 月 17 日（日） 14:00～15:30

3) 開催場所

もとまち地域センター 集会室

4) 次第

1. 本日の進め方等について
2. 史跡武蔵国分寺跡周辺エリアのまちづくりの方向性について
3. 史跡武蔵国分寺跡周辺エリアのまちづくり実施方針への展開について
4. 懇談

5) 配布資料

資料 1：史跡武蔵国分寺跡周辺エリアのまちづくりの検討について

資料 2：史跡武蔵国分寺跡周辺エリアのまちづくりの方向性

資料 3：史跡武蔵国分寺跡周辺エリアのまちづくり実施方針への展開について（その 1）

資料 4：史跡武蔵国分寺跡周辺エリアのまちづくり実施方針への展開について（その 2）

資料 5：史跡武蔵国分寺跡周辺エリアのまちづくりに関する第 3 回地域懇談会の開催について（ご案内）

参考資料 1：史跡武蔵国分寺跡周辺エリアのまちづくりの方向性作成に向けた各種意向調査について

参考資料 2：史跡武蔵国分寺跡周辺エリアのまちづくり 都市計画手法について

地域懇談会に関するアンケート調査票

6) 参加者数

3 名

7) 開催風景



2. 意見のまとめ

低層住宅・小規模 店舗調和ゾーン	[建物用途について] ・資料館に年間 1.4 万人来ているのであれば、カフェや土産物屋、案内所は立地しても良い。 ・必要な店舗は来訪者の人数によってくる。 ・コンビニはなくても良い。 ・店がばらばらとあるよりも、ある程度まとまってある方が集客や活気がでやすいのではないかと考える。 ・集積すると、その周辺の住民にだけ影響が大きい面もある。 ・お鷹の道を通って史跡に向かう人が多いので、元町通り沿いでは店舗が建つ可能性はある。 [景観・緑について] ・生垣は火災になると危険ではないかと考える。 ・生垣は日当たりによっては育たない箇所もあるので、一概に推進されても無理な場所がある。 ・ブロック塀は地震が起きたら、倒壊したりして危険な面もある。 ・ブロック塀を倒れないような構造にすることも可能ではないかと考える。 ・屋根の色等は周辺の緑と調和している方がよい。 [ゆとりある空間の確保について] ・敷地の細分化は避けた方がよい。
農住調和ゾーン	・取組みの方向性は良いと思う。 ・景観や緑、最低敷地面積については、低層住宅・小規模店舗調和ゾーンと同じようにルール化して良いのではないかと考える。 ・最低敷地面積 125 m²だと少し大き過ぎる印象がある。最近の住宅は 20 坪ぐらいでも建っている。

都市計画道路	・国３・４・１号線は廃止で良い。 ・大きい道路は新たにいらぬ。
地区内道路	・道路状空間の確保には、沿道の方の同意がないと難しい。 ・壁面後退や道路状空間の確保を行うことで、敷地内の自由に使える面積が減ることになるので、利害関係者との調整が必要。 ・元町通りは狭いが小金井市方面に抜ける動線として使われている。 ・植木交換通りを国分寺街道まで抜けられるようにしてほしい。
その他	・緑地ゾーン等のまとまった緑地は都の条例に基づく、緑地保全地域等に指定し、保全していく必要がある。 ・緑地を買い取る等して、遊歩道や休憩場所を整備し、国分寺駅から史跡へのメインストリートを確保してはどうかと考える。 ・おたかの道湧水園の池にホタルを放したい。専門家に池を見てもらったが、小川から池に水が流れこむようになっており、良い環境である。ホタルがいる自然環境は観光資源としても良いのではないかと考える。

3. 地域懇談会に関するアンケート調査票

1) 回答者数

3名（参加者3名）

2) 回答結果

地域懇談会を知ったきっかけ（複数回答）	
1).市より送付された開催案内	3
2).市報	0
3).市ホームページ	0
4).Twitter	0
5).知り合いから	0
6).その他	0

地域懇談会に参加された理由（複数回答）	
1).エリアのまちづくりに関心がある	3
2).国分寺市のまちづくりに関心がある	0
3).資料について説明を聞きたかった	1
4).まちづくりについての意見がある	1
5).エリア内に住んでいるため	1
6).エリア内に土地・建物の権利があるため	1
7).その他	0

地域懇談会で、まちづくりについての意見は出せたか	
1).はい	3
2).いいえ	0

地域懇談会の開催についての意見	
・緑を含むここ周辺一帯をあまり変化させないでほしいと思っています。	